

まつばら ち か

## 松原の地下をのぞいてみよう

み ほ はんとう するが わんがん ただよ  
三保半島は、駿河湾岸を漂

すな こいし なが ねんげつ  
う砂と小石が長い年月をへ

たいせき さし  
て堆積してできた“砂嘴”で

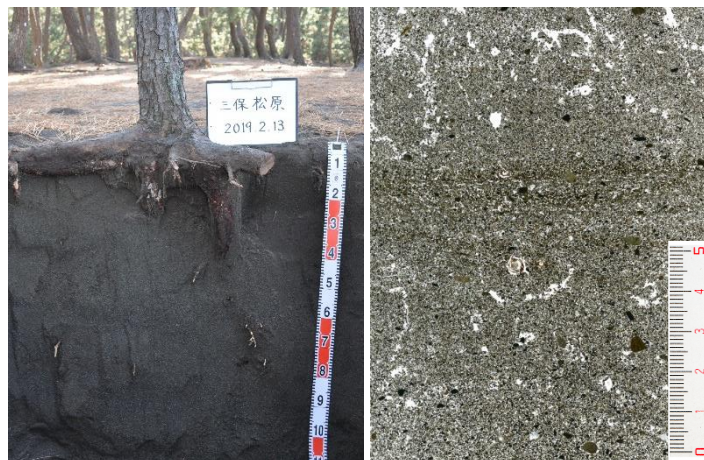
あり、どこを掘っても砂

どじょうぶんるいめい さしつ みじゆく  
(土壌分類名は“砂質未熟

ど 土”とよぶ) である。この土

じょう つね かわ じょうたい よう  
壤は常に乾いた状態で、養

ぶん ひじょう とぼ  
分も非常に乏しい。



松原の景観（上）、砂質未熟土の土壌断面（左下）  
と土壌薄片写真（右下）：砂と小石による「単粒  
状」とよばれる土壌構造が観察できる

きび かんきょうか  
この厳しい環境下でクロマツは、まる

すな わし じ めん  
で砂を驚づかみにするように、地面と

すいちよくほうこう すいへいほうこう ふと ね の  
垂直方向および水平方向に太い根を伸

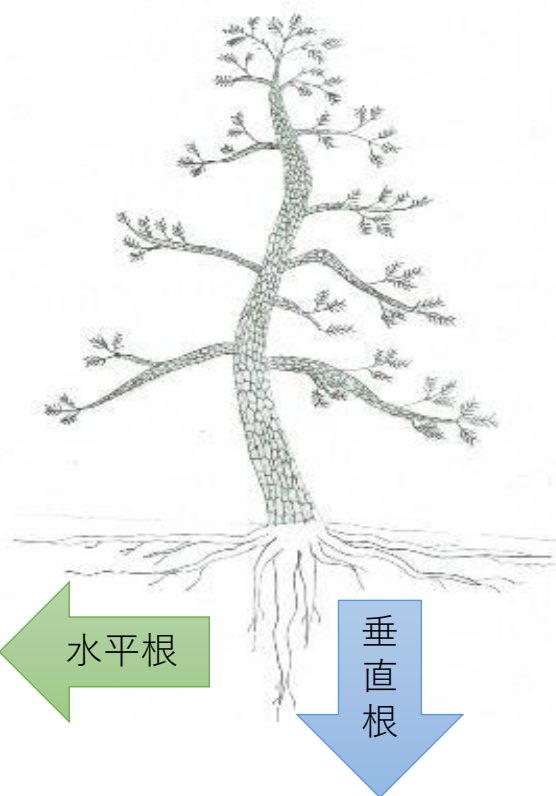
すいぶん ようぶん かぎ かんきょう なか  
ばし、水分や養分が限られた環境の中

きんこんきん きょうせい ちからづよ い  
菌根菌と共生して力強く生きている。

み ほ ち か すい い ふか すいちよくこん  
三保では地下水位が深く垂直根がよく

の じゅこう たか ぼうふうこうか たか  
伸びるため、樹高が高く防風効果の高

まつばら けいせい  
い松原を形成できる。



垂直・水平に  
しっかり根を張る

モノリス標本作成指導：

（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 土壌資源評価ユニット

Soil Inventory Unit, Division of Informatics and Inventory, Institute for Agro-Environmental Sciences, NARO